

めざす学校像

『チャレンジ・つながる・自立』を合言葉に、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を活用して、家庭や地域、関係機関等と連携を深めながら、障がいのある生徒一人ひとりの可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加に必要な資質・能力を培う教育を推進する。

○チャレンジ：未来の「なりたい自分」「ありたい姿」に向かった、粘り強く挑戦していく姿勢を育む学校

○つながる：多様な学びの機会を通じて、自他のよさや違いを認め合い、尊重する意識・態度を育てる学校

○自立：他者と協働しながら主体的に役割を果たし、自分らしく社会に貢献していく力を育てる学校

指導目標

1.基本的な生活習慣の確立をはかる

卒業後の生活をみすえ、適切な生活習慣を身につけるとともに、仲間を意識し、つながり、集団での活動に参加する力を育む。

「自立活動」「給食」「清掃」などのなかで、生徒一人ひとりの障がいの状況やニーズに即した個別の教育支援計画を作成し、目標設定、課題の提示などを通じて、基本的な生活習慣が確立するよう支援する。

2.健康なからだをつくり、規則正しい生活リズムを確立する

卒業後をみすえ、体力の向上をはかるとともに、からだ全体を使った活動を楽しむ力を育む。

「体育」「校外学習」などの授業、行事を通して、諸活動の基本となる体力づくりに積極的にチャレンジする姿勢を育むとともに、生徒一人ひとりの状況をふまえ、からだを動かす楽しさを通じて、日常生活の基礎となる体力の向上をはかる。

3.チャレンジする心を育む

卒業後の生活をみすえ、生徒一人ひとりの状況に応じた幅広い経験を重ねることで、生徒のチャレンジする心を育む。

校内・校外での幅広い実習体験や「作業」「職業」「実習」などを通じて生徒のチャレンジ意欲を高め、社会参加に向けて基礎となるさまざまな力を伸ばすとともに、継続して力が発揮できるよう持続力や集中力を育む。

「学校行事」を通してさまざまなことにチャレンジし、学校生活を充実したものとし、より発展させていく。

4.つながる力を育む

卒業後の社会参加をみすえ、友人や教師など他者との関わりのなかで、人とつながる力やコミュニケーション能力を育む。

「朝の会・終わりの会」「ホームルーム」「道徳」「うきうきタイム」「生徒会活動」などのなかで仲間を意識し、かわりを深めるなど、生徒一人ひとりの状況に応じた心の成長をはかるとともに、卒業後をみすえ、人とつながる力を育む。生徒の状況に応じ、生徒会選挙などを通して選挙の具体的なしくみについて理解するとともに公共的な事柄に自ら参画しようとする意欲や態度を育む。

5.基礎的な知識・技能や主体的に思考・判断・表現する力を育む

「文系」「理系」「情報」「家庭」「音楽」「美術」「ライフキャリア」などの授業を通して、人や物への興味・関心を高め、日常生活に必要な基礎的な知識・技能を活用する力をつけるとともに、表現する喜びなど豊かな情操を養い、持てる力の伸長をはかる。

各授業の目標と指導の重点

「自立活動」

- ・生徒一人ひとりの課題をふまえつつ、更衣、排泄、清掃など、日常生活に必要なスキルを身につけるとともに、卒業後の自立をみすえて、継続して取り組む力を育む。
- ・生徒一人ひとりに応じた役割を意識し、責任を果たすことの意義や喜びを感じることができるよう支援する。
- ・主体的な取り組みを促し、生徒それぞれの力が発揮できるように支援する。

「朝の会」

- ・朝の会では、一日の始まりに、その日の学校生活に見通しを持つとともに、仲間や教師とのつながりを深め、ともに学ぶために集うことができたことを喜ぶ。

「帰りの会」

- ・帰りの会では、一日の終わりに、その日のあった出来事等を、仲間や教師と共有し振り返る。また、次の日の予定を確認して見通しを持つ。

「給食」

- ・生徒一人ひとりに応じた役割を意識し、仲間と協力して準備・後片付けをする。
- ・「食」に関するさまざまな知識を身につけるとともに、健康保持の基礎となる口と歯の健康教育の充実を図る。

「うきうきタイム」(総合的な探求の時間)

- ・自主性、主体性、自己選択の力を高める。
- ・余暇活動を楽しむための経験を増やし、基礎となる力を養う。
- ・集団のなかでルールを理解し、仲間と一緒に活動を楽しめる力を身につける。
- ・個々の興味・関心に合わせた活動を行う。

「ホームルーム」「道徳」

- ・学年、クラスの仲間や教師とのつながりを深め、一緒に活動を楽しめる力を育む。
- ・クラスや集団のなかで自分の役割を果たすことができる態度を身につける。
- ・人間としてのあり方や生き方を考える。
- ・主体的な判断の下に行動する自立した人間として、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

「文系」

- ・「伝える力」など、日常生活の基礎となる国語的な知識を身につける。
- ・社会のしくみやはたらきについて必要な知識を身につける。
- ・外国の文化に触れ、外国語でコミュニケーションをとる力を育む。

「理系」

- ・日常生活に必要な数学的知識を身につける。
- ・自然のようすやはたらきについての知識を身につける。

「情報」

- ・情報機器を活用するための知識を身につける。

「家庭」

- ・知識を実生活に役立て、チャレンジする力を育む。

「作業」「職業」「実習」「ライフキャリア」

- ・生徒一人ひとりの状況をふまえつつ、卒業後の自立に向けて、さまざまな物をつくることや、認められる喜びを体験し、チャレンジする心や、働く意欲を高める。
- ・見通しをもち、持続してやりきる力を育む。
- ・集団のなかで協力して取り組む力を育む。
- ・からだ全体を使った作業で、身体をコントロールする力や体力を育む。
- ・巧緻性を養う。
- ・自ら考えて取り組む力を育む。
- ・安全に留意して作業を進める能力を高める。
- ・さまざまな体験を通して、就労に向けて、より実践的な力を育成する。
- ・将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身につける。
- ・さまざまな仕事について理解を深める。

「音楽」

- ・さまざまな音楽体験を積むことで、音楽への関心を高め、表現する力を養う。
- ・表現活動を通して、からだ全体で音楽を感じ、創造力を高める。
- ・役割を意識し、集団でひとつの音楽を作りあげる喜びを知る。

「美術」

- ・造形活動を通じて、表現する楽しさと喜びを感じる心を育む。
- ・豊かな発想力や自由な創造性を伸ばし、それを発揮するための技術を獲得する。
- ・対象をよく観察し、形を捉える力を養う。
- ・さまざまな素材や技法にふれる面白さを感じる。
- ・道具を正しく安全に使う。
- ・作品の鑑賞を通して、自己や他者の良さを感じる。

「保健」

- ・卒業後の生活を見据えて、健康・安全、人との関わり方についての知識を深める。

「体育」

- ・健康の保持増進と体力の向上をめざし、各種の運動経験を通して楽しさを味わう。
- ・授業を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力し、集団で行動する力を育む。